

(別紙5)

調査報告書

外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を实践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

訪問調査日	19年 11月 9日
調査実施の時間	開始 9時 20分 ~ 終了 14時 30分

訪問先事業所名 (都道府県)	ひよりの里 (福島県)
-------------------	------------------

評価調査員の氏名	氏名 <u>大野 恒夫</u>
	氏名 <u>熊谷 まゆみ</u>
事業所側対応者	職名 <u>管理者</u>
	氏名 <u>鈴木 裕美</u> ヒアリングを行った人数 2人

※記入方法

- 「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入してください。
- 「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に○をつけてください。

※項目番号について

- 外部評価項目は30項目です。
- 「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。
- 「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

〔認知症対応型共同生活介護用〕

1. 調査報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	772800470
法人名	株式会社 太郎
事業所名	ひよりの里
所在地	西白河郡西郷村大字小田倉字大平103番地の7 (電話) 0248-25-6688
評価機関名	会津医療生活協同組合
所在地	福島県会津若松市東千石町1丁目2-13
訪問調査日	2007年11月9日

【情報提供票より (19年10月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 9月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	18 人 常勤15人, 非常勤3人, 常勤換算13, 33

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1階建ての 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	60,000 円			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) / 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要 10月 10日現在

利用者人数	18名	男性	6名	女性	12名
要介護1	2	要介護2	8		
要介護3	6	要介護4	1		
要介護5	1	要支援2			
年齢	平均 82.1歳	最低	63歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ニューロクリニック 鈴木歯科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅地の中、公園に隣接する環境の良いところに建てられ居る。法人の理念として地域との関わりの中でサービスを提供することにしており、利用者が地域に出かけていくこと、地域の人がホームに来てくれる人が増えてきており、地域密着型サービスとしての成果が現れてきている。利用者の生活歴等を踏まえたその人らしさを大切にしたい日々のケアがなされている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善項目はなかったが、自己評価、外部評価の中で更に検討が必要なものは改善にむけ取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	介護サービスを振り返るとい形で、職員一人ひとりが自己評価を行った
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5)
	職員からの提案や取り組みを課題とし、話し合いを行い、会議の中で出さ問題や提案は質の向上にむけた改善に取り組んでいる。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	意見箱を設置している。家族の面会時に意見や要望を引き出すように努めている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地区内に「ひより便り」を配布し、地区の秋祭りに招待されるなど地域との交流は年々深まっている。

2. 調査報告書

大野 恒夫 / 同行調査員氏名 熊谷 まゆみ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人(介護事業部)の理念で地域との関わりの中でサービスを提供することを掲げている。地域密着型サービスの役割について、管理者研修の報告会を行い、全員で確認している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の共有化、具体化をはかるため、利用者に対してどのような介護サービスが提供されたのかを振り返りながら、毎月のユニット目標を決めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区に「ひよりだより」を配布したり、地区の秋祭りに招待されたりして、地域とのつきあいは年々深まっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日々の介護サービスを振り返るという形で、全員で自己評価を行った。自己評価、外部評価の結果、検討が必要なものは改善に向け具体的に取り組んでいる。		

グループホームひよりの里外部評価

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回定期的開催されている。家族も含めて活発な意見が出され、サービスの向上に活かしている。		
6	9				
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	ひより便りを毎月発行し、職員からの近況報告の手紙、金銭管理の報告と共に家族に送付している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置している。家族の面会時に意見や要望を聞くように努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間の異動は最小限にとどめるようにしている。離職による利用者の混乱が生じないように配慮している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の段階に応じ、研修の受講に積極的に取り組んでいる。研修報告書は本人の所感を含めて作成し、全体会議で報告している。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に加入しており、研修を通じて他事業所と交流、情報交換をし、質の向上を図っている。</p>		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)</p>			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>心身状態アセスメント等により本人の不安や悲しみなどを理解するように努め、人生の先輩である利用者から料理や風習などを教えてもらい、また、それを活かす場面をつくるよう配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で把握した気づき等をケース記録の気づき欄に記入し、申し送り事項として共有化、ケアプランにも反映させている。		基本情報にも追加するよう検討してほしい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	バックグラウンドシート、アセスメントシートにより本人の思いや意向を把握し、家族、担当職員等と話し合い介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎にユニット会議の中で見直しを行っている。状態変化があった場合は、関係者との話し合いを行い見直しを実施している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)			

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望するかかりつけ医となっている。家族同行の受診としているが、必要に応じ職員が同行している。受診の際の情報提供、受診結果の情報共有もなされている。		
19	47	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りを希望する重度の利用者を受け入れており、本人や家族と話し合い、医師とも相談し全体で方針を共有し取り組んでいる。	○	重度化や終末期に向けた方針の明文化を検討してほしい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	声掛け禁句集を作成し、また、声かけ応答ハンドブックなどにより利用者の誇りやプライバシーを傷つけないよう配慮している。記録等は鍵のかかる保管庫に収納している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝寝坊、好きなテレビ番組の視聴、散歩、買い物など一人ひとりのペースや思いを大切に支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員が一緒になって食材の買い物、食事の下ごしらえ、配膳、片付けを行っている。職員も一緒に食事をとり、会話をしたり、さりげなく支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴が可能で、時間帯は午前、午後と利用者の希望に添うように努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	食事の下ごしらえ、洗濯物たたみ、掃除、花の手入れなど、その人の役割が発揮できる場面を作っている。外食、ドライブ、地域の行事参加等の楽しみ、気晴らしを行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	外食、散歩、買い物など外出する機会を作っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけないで、外出察知センサーの設置、職員の見守りで対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火訓練、消防署による避難訓練を利用者とともに実施し、地域の協力を得るよう働きかけている。		夜間想定避難訓練の実施、隣近所の協力（出来れば避難訓練への参加）を得る働きかけを行ってほしい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の職員が居り、食事のコントロールを個別に行っている。食事の摂取量は毎日記録し、脱水症状にならないよう水分確保の支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やホールに季節の花、装飾品、絵画などを飾り季節を感じられるよう工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れたものなどを持ってきてもらうようにしている。箆笥、置物、家族の写真などが持ち込まれており、居心地の良い居室づくりに配慮している。		

※  は、重点項目。

3 評価結果に対する事業所の意見

グループホーム ひよりの里

記入担当者名 事務長 大友 一代

評価結果に対する事業所の意見

なし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。